

研究課題名	下垂体疾患における遺伝子変異解析研究
研究責任者名	広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 助教 馬場 隆太
研究期間	許可日 ～ 2026年3月31日
対象者	2021年11月から2026年3月の間に、広島大学病院内分泌・糖尿病内科で下垂体機能検査を行う患者さん。
意義・目的	下垂体機能異常の原因は未だ解明されていません。本研究では、下垂体ホルモン異常の原因を究明することを目的とします。
方法	<p>本研究は、提供いただいた血液を用いて遺伝子解析を行い、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は別、年齢、最終診断、身長、体重、血圧、来院時服薬内容、身体所見、血液検査、機能検査、画像所見などです。</p> <p>遺伝子異常が見つかった場合、その遺伝子異常を日本人のゲノムバンク（東北大学メディカル・メガバンク）で検索し、遺伝子異常と疾患の関連を調べます。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
研究の実施体制	<p>研究代表機関</p> <p>広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 助教 馬場 隆太</p> <p>研究機関の長：広島大学理事 田中純子</p> <p>試料・情報の提供機関：東北大学メディカル・メガバンク機構（山本 雅之）</p> <p>委託機関：北海道システムサイエンス株式会社（岡田幸）</p>
外部への試料・情報の提供	委託機関である北海道システムサイエンス株式会社において遺伝子解析を行います。
利用または提供を開始する予定日	広島大学における実施許可日（2021年11月22日）以降
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 助教 馬場 隆太
データの二次利用について	<p>この研究のために集めた血液等の試料は、同意説明文書でもご説明した通り、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを「二次利用」といいます。</p> <p>二次利用の際には、あらためて本学の倫理審査委員会にて審査し承認されたのち、研究機関の長より許可を得たのち使用します。</p> <p>将来の研究に使用した場合は、その研究に関する情報を現在ご覧いただいているHP（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開）</p> <p>https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx にて開示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。</p>
個人情報の保護について	

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。(試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。)

情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5 1 9 8 広島大学病院 内分泌・糖尿病内科 助教 馬場 隆太